

教育目標 豊かな心を持ち たくましく実践する生徒

学校だより **じょうとう** 令和7年6月19日発行
第3号

上越市立城東中学校 TEL: 025-522-1168 Fax: 025-522-1169
URL <https://www.joto.jorne.ed.jp/> (文責) 教頭

「仲を悪くしない能力」を磨こう

校長 長谷川 晋

体育祭では、どの軍もリーダーを中心によくまとまり、心をつなげて、競技に応援に一生懸命取り組む姿が見られました。フィナーレでは、戦い合った仲間と5つの輪を作って、校歌を歌う場面があり、心温まる素晴らしい体育祭にすることができました。

生徒たちは、授業に、学級・生徒会活動に、部活動に、全力で駆け抜けていると感じます。それらの努力が着実な成果となり、様々な場面で周りから認められ、さらに向上しようと頑張っています。

今月は生徒の皆さんに、友だちとの「仲を悪くしない能力」について、下の枠内に紹介します。

読売中高生新聞が主催した「第5回(2018年度)キミに贈る本(キミ本)大賞」で、第1位に輝いた「友だち幻想～人と人のつながり>を考える」(ちくまプリマー新書)という本があります。著者は、宮城教育大学教授で社会学者の菅野 仁(かんの ひとし)さんです。菅野さんは、人と人のつながりの常識を、根本から見直してみる必要があると述べています。以下は、その要約です。

小学校に上がるころ、聞いたり歌ったりした記憶があると思いますが、「一年生になったら」という童謡があります。「一年生になったら、友だち百人できるかな」といった歌詞ですが、学校はこの歌に象徴されるように、「友だち幻想」というものが強調される場所のような気がします。「みんな仲良く、いつも心が触れ合って、みんな一つだ」というメッセージもよく使われます。

しかし、この「みんな仲良く」はそんなに重要なことなのか。むしろ、子どもたちに重圧をかけているのではないか。「みんな仲良く」というのは、同じ価値観や感受性、感情を共有する関係、つまり「フィーリング共有関係」をせまる言葉です。そもそも、心の底から、本当に信頼できる友だち、100%心を許せる友だちなんて、そう簡単に見つかるものなのか。それが見つかることは、すごくラッキーなことで、いつか自分にも見つかるだろうと考えるのは「幻想」でしょう。私たちはそろそろ、そうした発想から、解放されなければならないと考えています。

また、「仲良くすること」は、紙一重で「自分や他者を傷つけること」にも、なり得るものです。仲良くするために、我慢をしたり、嘘をついたり、相手がやっている良くないことにつきあったり、さらにはそれ以外の人を排除したり、攻撃したりするのは、自分や他者を傷つけることです。子どもたちの間では、よくあることだと思います。仲良くするために、自分の心をすり減らし、それでも「みんな仲良く」を求められることは、大変なことではないかと思うのです。

菅野さんは、同じであることを求め合うのではなく、どんなに合わない人とも、とりあえず相手の存在だけは認めた上で、互いに上手に調整し合うような「友だちづきあい」を提案しています。

そもそも、クラス全員が仲良くできる、全員が気の合う仲間どうしであるというのは、現実的に不可能に近いことです。

そこで、「人はどんなに親しくなっても、他者なのだ」ということを意識した上で、身近な他者との信頼感を作っていくことが大切です。無理にフィーリングを合わせようとするのではなく、互いの存在を見ないようにしたり、同じ空間にいてもあえて距離を置いたりすることで、互いの心地よさを尊重し合う必要があると思うのです。つまり、「親しさか、敵対か」の二者択一のつきあい方ではなく、「態度保留」という真ん中のつきあい方を選ぶということです。

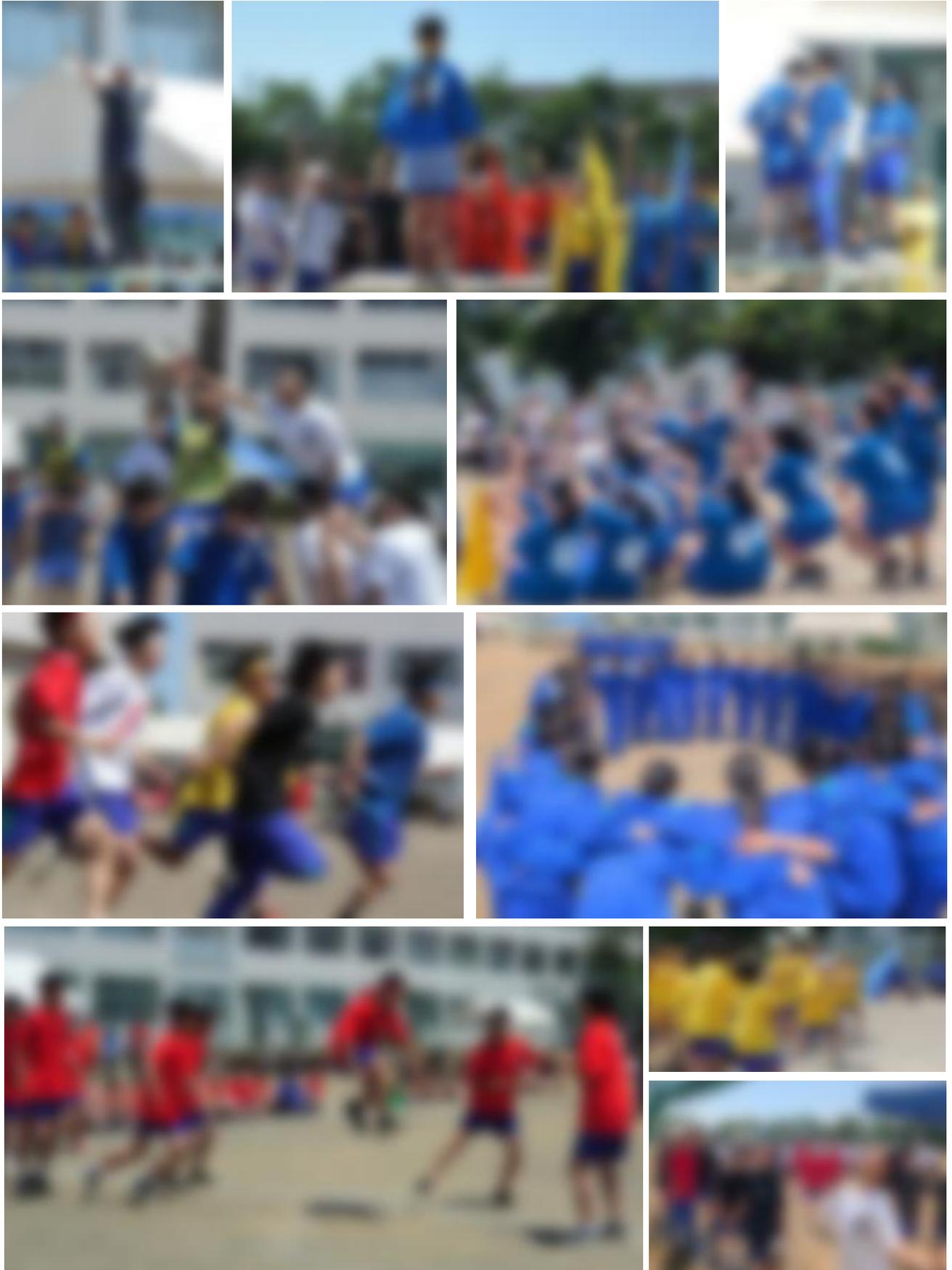
城東中生の皆さん、気が合わない人に対して無視するのではなく、会ったら最低限のあいさつだけは欠かさないようにするなど、相手と少し距離を置いて「仲を悪くしない」ことが、上手なつきあい方になります。多様性の時代を生きていく上では、「仲良くする能力」よりも「仲を悪くしない能力」を磨いていく方が必要だと思います。菅野さんの著書の中には、人と人のつながりを築いていくためのヒントが、たくさん書かれています。ぜひ、朝読書などで読んでみてください。

結びに、上位大会出場をかけた上越地区大会が始まっています。多くの選手が練習の成果を発揮してくれることを期待しておりますが、大会後、中学校での部活動が終了する3年生も出てまいります。すべての子どもたちが、これまでの集大成のパフォーマンスを披露し、「やりきった」という満足感をもつことを祈っております。子どもたちへの変わらぬお力添えと見守りをお願いいたします。

令和7年5月28日（水）

挑進！伝統が息づく体育祭！！

今年度は、昨年度の3年生の悲願であった、オリジナルTシャツを身にまとい、グラウンドを躍動しました。競技も運営も生徒が行う伝統は変わりません。真剣に、一瞬一瞬を楽しむ姿に感動をもらいました。





フィナーレでは、グラウンドに5輪の花を咲かせました。ここで築いた絆をこれからの学校生活に生かしてほしいと思います。これからも城東中生は自分たちの課題に挑み、進み続けます！

令和7年6月10日（火）～21日（土）

上越地区大会が行われています！！

10日（火）から陸上競技、ソフトテニス、水泳を皮切りに、上越地区大会が開催されています。今年も分散開催になり、長期戦になりますが、今まで練習してきた成果を発揮するため、どの部も真剣勝負です！

【陸上競技】（以下の選手は、 県大会出場決定！ ）※ただし低学年リレーは地区大会まで	
男子 100m 1位	4×100mR 3位
200m 1位	低学年4×100mR 5位
400m 6位	
800m 6位	女子 100mH 9位
走高跳 2位	走高跳 2位
走幅跳 3位 8位	四種競技 2位
四種競技 5位	
【軟式野球】 対 城西・中郷 3-8	【男子ソフトテニス】
対 糸魚川 0-8	団体戦 予選リーグ2位
【女子バスケットボール】	個人戦 5位
対 翔洋・鏡が沖 63-41	→県大会出場決定！
→20（金）準々決勝進出！	【女子バレーボール】
【男子バスケットボール】	対 松浜 2-0
対 城西 41-47	→20日（金）決勝トーナメント進出！
【女子ソフトテニス】	【女子卓球】
団体戦 予選リーグ1位	団体戦 予選リーグ4位
決勝リーグ3位	→20日（金）決勝トーナメント進出！
→県大会出場決定！	【男子卓球】
個人戦 1位	団体戦 予選リーグ惜敗
5位	【水泳競技】 50m自由形 8位
→県大会出場決定！	→県大会出場決定！
	【柔道】 男子60kg級 1位
	→県大会出場決定！

令和7年5月21日（水）

学校運営協議会・生徒との懇談会開催！

今年度も学校運営協議会後、委員の皆様にも参加していただき、生徒会正副会長と地域をつなぐ懇談会を行いました。「安心安全のまちづくり」に貢献したいという生徒会の提案があり、様々な方策を考えました。今後生徒会や職員と協働し、さらに具体的な活動を検討していきます。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

【懇談会で意見があがったもの】

- ・安全マップづくり
- ・高田公園清掃
- ・まちづくり川柳・標語
- ・交通マナーの呼び掛け
- ・高田西小マラソン伴走
- ・あいさつ活動や季節ごとの感謝を伝える活動
- ・地域行事への参加

→日常のヘルメット着用、アーケードや雁木通りの自転車通行、通行中のイヤホン・スマホ



7月の主な予定

- | | | | | |
|--------|--------|------------|-------------------|------------|
| 4日（金） | 5日（土） | 通信陸上大会 | 20日（日） | 地区吹奏楽コンクール |
| 5日（土） | 6日（日） | 県大会（バレー） | 25日（金） | 1学期終業式 |
| 12日（土） | 13日（日） | 県大会（各種） | 28日（月） | 1学期末面談 |
| 19日（土） | 20日（日） | 県大会（陸上・柔道） | （予備日を含め8月5日（火）まで） | |

